

平成24年度 能美市地域福祉活動計画

第3回アクションプラン推進協議会及び第3回第2次計画策定ワーキング部会（会議録）

※ 第1次計画のまとめとその課題を、第2次計画につなげていくための合同開催

日時：平成24年9月26日（水）午後7時30分～9時10分 場所：辰口健康福祉センター

参加者：高塚亮三、橋本八重子（人づくり委員会）

井上 徹、吉田 良（ネットワークづくり委員会）

西川方敏、武田裕幸（私たちのボランティアセンターづくり委員会）

田中邦一、村上洋子（評価委員会正副委員長）

本田昌之（福祉課）…策定ワーキング部会として出席

社 協：宮本会長、斉藤事務局長、新川次長、海道、小西、石川、高畑（記録）

欠 席：宮田 明、喜多 泉、清水奈津美（敬称略）

1. 開会の挨拶

高塚アクションプラン推進協議会長

第1次計画から4年半が過ぎ、長かったような短かったようなどちらの気持ちもあるが、第1次計画のまとめをする時期となった。皆さんの汗が結実するように、第2次計画につなげていくことを考えていきたい。

2. 報告及び協議

・各アクションプラン委員会からの第1次計画まとめ報告(まとめシート資料参照)

① ネットワークづくり委員会より報告 〈井上アクションプラン委員会委員長〉

田中評価委員長：地域福祉委員会が設立していない町会の中には、世帯数が少ない集落で、見守り体制など地域福祉員会に求める機能が自然と既にできている町会もある。そういう地域に関しては、今ある体制を活かすこととし、無理に設立を進めない方がよいのではないか。ただし、新興住宅など体制がない町会に関しては、今後も設立を働き掛ける必要がある。

西川副会長：地域福祉委員会が設立されていない町会に対しては、地域福祉委員会に求める活動や機能を項目化し、チェックシートなどを用いてその機能を確認し、実質設置していることと捉えてもよいのではないか。

田中評価委員長：そのような形で機能していると判断できる町会に対しては、設置したものと捉えると、設置率は実質100%に近くなるのではないか。

② 支えあいのしくみづくり委員会より報告 〈アクションプラン委員会正副委員長欠席の為、担当職員より報告〉

特に質疑なし。（但し、目標値の設定期間の確認を行う。）

③ 私たちのボランティアセンターづくり委員会より報告 〈西川アクションプラン委員会委員長報告〉

田中評価委員長：ボランティア登録数の中には泉台町の送迎ボランティアをやっている団体も含まれているのか。

事務局：「NPO法人えんがわ」として登録されているので、数に含まれている。

高塚会長：アクションプラン委員会とボランティアセンター運営委員会の機能をどのように区別しているのか。

西川副会長：アクションプラン委員会は地域福祉活動計画に基づく取り組みとして長期計画を他の地域福祉活動と連携して定める機能があり、運営委員会はアクションプラン委員会で定めた方向性をボランティアセンター事業として具現化する機能であると捉えている。

④ 人づくり委員会より報告 <高塚アクションプラン委員会委員長>  
特に質疑なし

～各アクションプラン委員会からの報告を終えて～

田中評価委員長：福祉や教育の分野では、数値を設定したり、成果を表すことは難しい。第2次計画に向けては、目標をどう表現したらよいか、十分な検討を要する。（他地域の活動計画事例などを参考にしているかどうか）

高塚会長：福祉分野で数値目標を出す場合には、かなり具体的に示さないと難しい。第1次策定時にも同様の議論があった。また、ネットワークづくり委員会の報告時に議論したように設置数が100%ならそれでよいのか。ということもある。

西川副会長：「達成した、しない」ではなく、達成できなかった場合にその根拠や背景などを把握し、次の取り組みにつなげることが重要であると思う。

3. 第1次計画（5年間のまとめ）の報告会について

平成25年1月の予定であったが、町会長の変更時期として常会の開催時期でもあり、地域福祉の中心的役割を担う方々の負担を考慮し、スケジュールを変更したい。

1次計画のまとめと課題の報告は、その課題を引き継ぐ2次計画の骨子が見える3月に行うことで如何か。（2次計画の正式承認は3月の社協理事会・評議員会において）  
→ 全員了解

高塚会長：報告会が3月に行うこととすると、アクションプラン委員会では、どのようなことに取り組むべきか。

西川副会長：報告会の企画に取り組むことと共に、各アクションプラン委員会より2名ずつ第2次計画の策定ワーキング部会に出ているので、そこでの意見を持ち帰り検討する役割も必要となるだろう。

◆今年度の「春 まち ぽかぽか プロジェクト」についてどうするか (P 2, 3 参照)  
事務局より案 1～3 を説明

宮本社協会長：各アクションプラン委員会の分科会については、案 2, 3 においては、実施しても実施しなくてもよいということで、各アクションプラン委員会で協議し、決定してもらうことかどうか。

→ 案 3 をベースとし、日程等を調整するが、10 日は長いとの意見もあり。

→ 各アクションプラン委員会の分科会については各アクションプラン委員会で検討する。⇒了承

西川副会長：5 年目として、「春 まち～」もステップアップした内容を企画したいという気持ちもある。例えば、緑が丘にある知的・精神障害者グループホームとその地域の地域福祉委員会での話し合いを実施するなど如何か。地域の人がある施設への理解を深める機会となる。

高塚会長：12 月に障害者ウィークが開催され、市内の福祉施設も協力して実施されているので、更にとなると、施設としての負担も大きいのではないか。しかし、施設側も理解を深める機会として取り組んでいるので、現状では障害者ウィークの取り組みを見守ることも大切なのではないか。

吉田理事：グループホームによっては、女性だけで寝泊りをしている場合もある。その場合の犯罪抑制という配慮からも、あまり大々的に紹介することは避けた方がよいのではないかと思う。

西川副会長：自分の例はあくまでこれまでと違った視点から企画として挙げただけで、今のような協議が各アクションプラン委員会で、行われればよいと思う。

高塚会長：報告の機会が 3 月に実施されるということは、評価委員会の開催もそれ以降になるということか。

事務局：評価委員会は報告の機会の実施後になる。

#### 4. 今後の各アクションプラン委員会等の日程について

- ・地域福祉人づくり委員会

10 月 9 日 (火) 10 時～ 寺井地区公民館

- ・地域福祉NWづくり委員会

10 月 17 日 (水) 19 時 30 分～ 寺井地区公民館

- ・私たちのボランティアセンターづくり委員会

10 月 17 日 (水) 19 時 30 分～ 辰口健康福祉センター

- ・地域福祉支えあいのしくみづくり委員会

11 月 16 日 (金) 13 時 00 分～ ふれあいプラザ

## 5. 次回開催日

- ・ AP 推進協議会 11月27日（火）19時30分～
- ・ 第2次策定ワーキング部会 10月 3日（水）19時30分～
- ・ 会場は、両方とも辰口健康福祉センター

## 6. 閉会の挨拶

西川アクションプラン推進協議会副会長

今日、各アクションプラン委員会からの報告を聞いて、第1次計画開始からもう5年もたったのかを実感した。5年前には、世の中に育メンという言葉も聞くことがあまりなかったが、支えあいのしくみづくり委員会が啓発に取り組んだころから、徐々に耳慣れた言葉になった。第2次計画の方向性を示せるよう、第1次計画からの課題をまとめていけるようご協力をお願いします。

- ※ 第2次計画策定ワーキング部会として、前回協議した内容をまとめた資料を配布し、各自、次回（10/3）までに確認することを連絡した。